

株式会社糖鎖工学研究所

<https://www.glytech.jp/>

ヒト型糖鎖製造及び糖鎖修飾技術を基盤とした
医薬品開発に係る受託合成・研究・開発事業

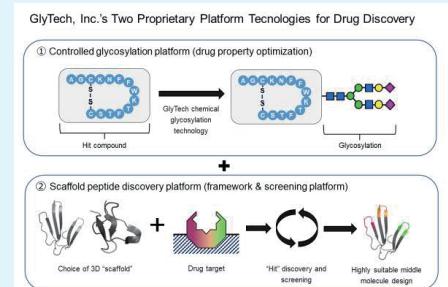
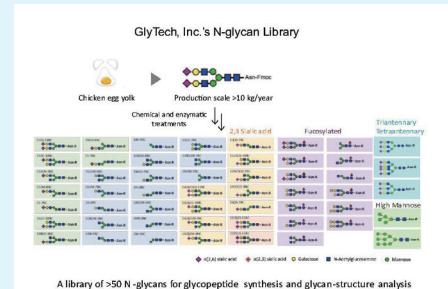


▶ 会社の特徴、事業概要

糖鎖工学研究所は、梶原教授との共同研究で培った技術をもとにした、ヒト型アスパラギン結合糖鎖製造、糖ペプチド及び糖タンパク質全化学合成技術を基盤として事業を展開している。また、アスパラギン結合糖鎖については、そのさまざまな構造をライブラリー化しており、ライブラリーを提供することも可能となっている。糖鎖工学研究所は、これらの基盤技術を生かし、リード化合物に対する糖鎖修飾位置や修飾糖鎖構造の最適化を展開するとともに、新たに糖鎖修飾に適した中分子リード・スクリーニング技術を導入することで、新しいモダリティーとしての新薬開発を、国内外の製薬・化学企業と進めている。また、梶原教授をはじめ、多くの大学や研究機関に対する試薬販売や共同研究を通じて、新しい技術の開発を積極的に行っており、受託研究事業の拡大により、糖鎖を利用した医薬品候補品の創製を促進し、糖鎖工学技術を応用した低コストで高品質な原薬の販売を行い、強固な経営基盤を築くことを目指す。

▶ 大阪大学との関係

糖鎖工学研究所は、2012年4月に、大塚化学株式会社（以下「大塚化学」）の子会社として設立された。大塚化学では、2002年より、大阪大学大学院理学研究科梶原康弘教授との共同研究を通して、ヒト型アスパラギン結合糖鎖の大量製造技術のほか、糖鎖・タンパク質合成技術に関するさまざまな研究成果を生み出してきた。2009年に大塚化学内の研究施設として誕生した糖鎖工学研究所は、2012年に4月に大塚化学の子会社としてスタートし、2013年3月に大塚化学から独立した。



本社所在地

京都府京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク1号館2階

代表取締役

朝井 洋明

設立

2012年4月